

『被災地からの転入ママお茶会』 活動報告

報告者／特定非営利活動法人にこっと
佐藤 多紀子

団体概要

- * 運営母体／特定非営利活動法人にこっと
- * 所在地／山形県酒田市二番町
- * NPO法人取得／平成16年

NPO法人にこっと

地域子育て支援拠点事業【ひろば型】
平成17年8月OPEN
機能拡充型《一時預かりの実施》
酒田市委託事業

- * 遊びのひろばの提供
- * 相談の対応
- * 講座の企画・開催
- * 子育て情報発信

- * (ひろば内での) 一時保育

・先輩ママの家庭訪問支援事業
・ひとり親家庭交流促進事業
・子育て応援交流促進事業
山形县委託事業

- * 母親同士の交流
- * 子ども同士の交流
- * 大学生と子どもの交流
- * 子育て情報の提供
- * 各種講座の企画・開催

・保育事業 平成16年7月OPEN
・フリーペーパー発行事業
・発行初年度は、山形县委託事業『地域人材育成事業』として単発誌発行

- * イベント託児
- * ベビーシッター派遣
- * ワーキングママ支援保育
- * ひとり親支援保育

- * ～ママの笑顔を応援するフリースタイルマガジン～
『itteki-Map+』発行

・『nicomama shop』
・平成19年10月オープン
・開設初年度は、山形县委託事業『子育て支援サービス事業化支援事業』として運営

- * 手作り小物 販売
- * 手作り衣類 販売
- * 手作りお菓子 販売
- * その他のオーダー注文

・にこっとスタジオ 平成21年5月オープン
自主事業

- * 臨時保育室の開設
- * 会議室利用
- * 各種講座開催
- * 利用者へ貸出し
- * その他、多目的使用可能

事業説明

*山形県委託 先輩ママの家庭訪問支援事業の一環として実施

先輩ママの家庭訪問支援事業とは…

「先輩ママの家庭訪問支援事業」の全国的な正式名称は、『ホームスタート』事業といい、訪問してくれる先輩ママを《ホームビジター》と呼びます。

この事業は、未就学児（6歳以下）がいる家庭にボランティアが訪問するイギリス発祥の家庭訪問型子育て支援です。先輩ママ《ホームビジター》として活動する方は、養成講座を受講し、全日程を修了しています。

先輩ママ達は、無償ボランティアとして週1回2時間程度、ご家庭を訪問いたしますが、訪問希望者・先輩ママの都合で変更になる場合もあります。

先輩ママは、ママ友のように訪問先の親子に寄り添いながら『傾聴（けいちよう）＝話を聞く』『協働（きょうどう）＝一緒に何かをする』などの活動を行い、訪問先の親子が心に抱えているモヤモヤやイライラを軽減し、自信を取り戻し、地域へと踏み出していくキッカケづくりを応援します。

取組概要

避難家族のお茶会

《お茶会開催のきっかけ》

一時保育を利用していた転入母から、他の転入者と話をしたいと声があり
当法人として、避難家族へできる支援を模索中に、酒田市子育て支援課より
被災地からの転入母子の交流会開催の打診を受ける。

《開催費の確保》

山形県委託の先輩ママ家庭訪問型支援事業の枠内で、交流会開催の予算が
充てられる事となった。

平成23年11月10日、第1回目『被災地からの転入ママお茶会』を開催

《開催目的》

「心の中にある思いを声に出してみんなで泣いたり笑ったりしませんか？」

→酒田での生活に関するに不安感・地元への思いなど、同じ立場である母親同士だからこそ分かり合える気持ちを吐き出し、共有する。

《開催日時》

毎月第4月曜日 10時～11時30分まで

《対象者》

被災地からの転入母子

《参加費》

無 料

《協力機関》

* 酒田市 *

- ・ 子育て支援課／会場費(冷暖房費含)の援助(平成23年11月～平成24年3月)
- ・ 危機管理室 / 開催告知チラシの配布

* 酒田市社会福祉協議会 酒田市ボランティアセンター *

- ・ 参加者への傾聴、情報提供
- ・ 開催告知を会報誌へ掲載
- ・ 地元支援者への呼びかけ

* 庄内地域子育て応援協議会 *

- ・ 参加者への傾聴、情報提供

* 復興ボランティア支援センターやまがた *

- ・ 開催告知を会報誌へ掲載
- ・ 当法人発行のおたよりをHPへ掲載

《単発ボランティア参加》

- * パステルアート講師
- * ファイナンシャルプランナー
- * アロマセラピー講師
- * 教会牧師(衣服提供)
- * 読み聞かせ団体(予定)

参加募集チラシ

こころのなかにあるおいをこえにだして、みんなでないたりわらったりしてみませんか？

第10弾 **震災で酒田に避難やお引越してきたママさんたちおしゃべりお茶会しましょ♪**

不慣れな土地での突然の生活&子育て・・・。
 知りたいコトや心配なコト、誰かに聞いてもらいコト
 地元のコトはありませんか？

美味しいお茶を飲みながらみんなでワイワイおしゃべりしませんか？

日時:平成24年8月27日(月)10:00~11:30

場所:にこっとスタジオ 《にこっと広場向かい》

対象:酒田(庄内)に避難・お引越してきた方ママさん

*ママだけの参加&子連れ参加OK

参加費:無料

申込み〆切:8月23日(木)



園に無料駐車場あります。(10台駐車可)

会場MAP

主催・申込み NPO法人 **にこっと**

〒998-0045 山形県酒田市二番町7-8
 TEL/FAX 0234(23)6330

にこっと広場

検索

担当:石垣 / 佐藤

参加者数

	開催日	参加人数
第1弾	平成23年 11月10日	11組20名
第2弾	12月13日	12組23名
第3弾	平成24年 1月24日	15組27名
第4弾	2月28日	13組23名
第5弾	3月27日	8組19名
第6弾	4月23日	5組11名
第7弾	5月28日	7組13名
第8弾	6月25日	9組14名
第9弾	7月23日	9組20名

参加者の声

「震災で酒田に避難しているママさんたちおしゃべりお茶会しましょ♪」

会 場：酒田市総合文化センター402・403号室 時 間：10:00～12:00

開催日：第1回目／平成23年11月10日 木曜日 参加：11組 第2回目／平成23年12月13日 火曜日 参加：12組

①酒田での生活について

- ・現在は、酒田市からの支援が充分あり近所の方々もとてもよくして下さるので日常的な困り事はこれといってない。
- ・一時保育を利用したいので、預け先の情報が欲しい。
- ・生活費のため、働くつもりはあるが踏み切れない。
- ・酒田市からの情報提供で、酒田の状況を把握しているが、人によって得られている情報に差がある。
- ・雪への不安が大きい。
 - スタッドレスにはいつ交換したらよいか。冬用ワイパーの存在も知らなかった。
 - 地吹雪・路面凍結など雪道の運転が不安。
 - 冬場は車の運転をせず、バスを利用したほうがよいか。
 - バスの乗り方・バス停など、詳しく知りたい。
- ・来年度以降、被災者に対する酒田市の補助が継続になるか未定なのが不安である。
- ・計画的避難、自主避難では、市から得られる補助金が違うため、被災者同士に壁ができてしまう。
- ・行政から定期的に家庭訪問をして欲しい。
 - 家庭訪問の担当者が固定されれば尚、安心できる。

②子どもの生活について

- ・酒田の幼稚園の保育料金は高い。市からの補助がなくなったら通園できるかが不安。
- ・学校や教師の対応がよく、学校生活に心配はない。
- ・被災児同士を同じクラスする配慮が取られており、心強い。
- ・小学校のPTA会費、月8,000円が自費なのが家計にとって負担が大きい。
- ・いつまで酒田で生活するか未定なため、幼稚園指定の保育用品を揃えるべきか悩んでいる。

③メンタル面について

- ・気持ちを吐き出して、泣ける場が欲しい。
- ・夜、叫びたい気持ちになることがある。
- ・同じ思いを抱えるママ同士で気持ちを共有したい。
- ・父たちも不安を抱えている。メンタルクリニックへの通院や、投薬を受けている父もいる。

今後の活動予定

現在の動き

「被災地からの転入ママお茶会」 → 「育児サークル」設立へ

育児サークルへ活動に移行するメリット

- * 自主的な活動が出来る
- * 様々な協力を得られる
- * 参加者同士、より密接な関わり合いが持てることが期待できる

子育て支援団体として…

避難親子が酒田(庄内)で送るめる日々の暮らし・子育てを
楽しめるための繋ぎ役やお手伝いを継続的に実施